

平成26年度決算が認定されました

平成26年度決算が市議会9月定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。決算書は市役所の情報スペース、図書館でご覧になれます。
【問合せ】 財政課 ☎ 551・1534

●一般会計●
平成26年度の一般会計決算額は、歳入(収入)が235億4,652万6千円、歳出(支出)が224億2,453万7千円で、収支差引額は11億2,198万9千円、翌年度繰越財源を除いた実質収支額は11億1,717万4千円となりました。
歳入額は前年度に比べて1.8%の増、歳出額は1.9%の増となっています。また、26年度から25年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額は413万5千円となっています。26年度決算の前年度との主な比較は下記のとおりです。

●特別会計●
特別会計の4会計の決算は、下表のとおりです。
特別会計の決算額は、全体で歳入が137億6,516万7千円、歳出が131億6,881万1千円となり、歳入は前年度に比べて3.5%の増、歳出は2.4%の増となっています。国民健康保険特別会計では、収支差引額が3億3,594万9千円万円の黒字となっていますが、一般会計からの繰入金を加算した収支額は3億6,025万1千円の赤字であり、大変厳しい運営状況となっています。

平成26年度特別会計決算

会計	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
国民健康保険特別会計	72億 72万 7千円	68億 6,477万 8千円	3億 3,594万 9千円
介護保険特別会計	36億 8,632万円	35億 4,754万 2千円	1億 3,877万 8千円
後期高齢者医療特別会計	11億 534万円	10億 7,688万 6千円	2,845万 4千円
下水道事業会計	17億 7,278万円	16億 7,960万 5千円	9,317万 5千円
合計	137億 6,516万 7千円	131億 6,881万 1千円	5億 9,635万 6千円

前年度との主な比較 (歳入)

- ・市税 (1.4%増) 企業収益の回復傾向による法人市民税や負担調整措置の変更による固定資産税の増などにより、前年度に比べ市税全体で1億910万7千円の増となっています。
- ・地方譲与税 (4.6%減) 国税の一定割合が交付される自動車重量譲与税の減などにより、451万8千円の減となっています。
- ・地方交付税 (8.6%減) 全国の自治体が一定のサービス水準を維持できるよう交付されるもので、普通交付税が1億7,551万9千円の減、特別交付税が5,259万1千円の減となっています。
- ・国庫支出金 (1.2%増) 防衛施設周辺道路整備事業補助金などが減となっていますが、臨時福祉給付金給付事業費補助金や子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金の増などにより、4,883万2千円の増となっています。
- ・都支出金 (1.3%減) 市町村総合交付金などが増となっていますが、スポーツ祭東京2013運営費交付金の皆減などにより、4,445万2千円の減となっています。
- ・繰入金 (24.6%増) 財源不足を補うための基金の取崩しなどの収入で、都市施設整備基金繰入金などが皆減となっていますが、古民家取得事業費などに充てる特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金繰入金の増などにより、全体では1億2,498万8千円の増となっています。
- ・繰越金 (50.5%増) 26年度の前年度繰越金は、25年度に比べて3億7,346万6千円の増となっています。
- ・市債 (20.0%減) 防衛施設周辺道路整備事業債、第三市営住宅エレベーター設置事業債の皆減により、1億円の減となっています。

前年度との主な比較 (歳出)

- ・総務費 5.6%減 交通安全対策費や町会関係費、税務・財務・会計事務など、市の業務に必要な経費です。平成26年度決算では、国民体育大会推進費の皆減や会館建設費補助金の減などにより、全体では1億2,908万9千円の減となっています。
- ・民生費 4.0%増 高齢者・障害者・子育て支援・生活保護などの経費で、臨時福祉給付金給付事業費や子育て世帯臨時特例給付金給付事業費の増などにより4億740万9千円の増となっています。
- ・衛生費 4.4%減 保健衛生や環境対策、ごみ処理などの経費で、福生病院組合建設費負担金の減などにより9,795万4千円の減となっています。
- ・商工費 12.1%増 消費者啓発事業委託料や福生市商工会事業費補助金の増などにより、1,970万5千円の増となっています。
- ・土木費 15.5%減 道路建設や公園整備などまちづくりの経費で、道路照明灯LED化事業費の減や第三市営住宅エレベーター設置事業費の皆減などにより、2億5,883万4千円の減となっています。
- ・消防費 9.1%増 消防署業務の東京都への委託や消防団などの経費、災害対策費が主なもので、消防事務都委託費負担金の増などにより、7,691万円の増となっています。
- ・教育費 18.0%増 教育の充実や文化・スポーツの振興などの経費で、わかたけ会館改良事業費の増や古民家取得事業費の増などにより、3億9,530万7千円の増となっています。
- ・公債費 7.1%減 市債(長期借入金)の元利金を返済する経費で7,775万円の減となっています。 ※一般会計では公債費のほか、繰出金や負担金の支出の中で、市の下水道事業会計や西多摩衛生組合など一部事務組合の借入金に対し、その元利償還金の一部を負担しています。

増となっています。

教育の充実や文化・スポーツの振興などの経費で、わかたけ会館改良事業費の増や古民家取得事業費の増などにより、3億9,530万7千円の増となっています。

市債(長期借入金)の元利金を返済する経費で7,775万円の減となっています。

※一般会計では公債費のほか、繰出金や負担金の支出の中で、市の下水道事業会計や西多摩衛生組合など一部事務組合の借入金に対し、その元利償還金の一部を負担しています。

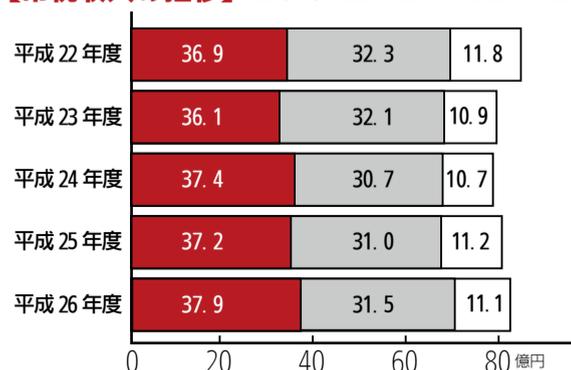
【市の繰出金や負担金の中に含まれている準公債費的な支出】

- ・下水道事業会計繰出金のうち、約2億2,800万円
- ・一部事務組合への負担金のうち、約2億2,500万円
- ・障害者施設、特別養護老人ホーム等への建設費補助金約6,500万円

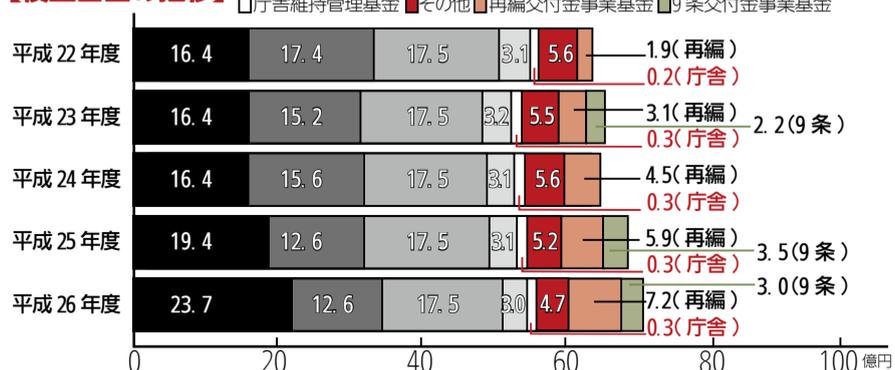
※下水道事業会計への繰出金は、公共下水道、流域下水道整備などに要した費用のうち、一般会計から負担できる額の一部で、一部事務組合(西多摩衛生、瑞穂斎場、東京たま広域資源循環、福生病院)への負担金は、施設整備のための借入金に対する元利償還金分の負担額です。



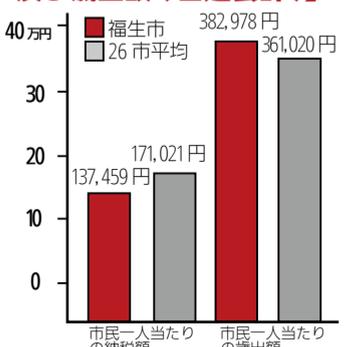
【市税収入の推移】 ■市民税 □固定資産税 □その他



【積立基金の推移】 ■財政調整基金 ■都市施設整備基金 ■学校施設等整備基金 ■市営住宅等管理基金 □庁舎維持管理基金 ■その他 ■再編交付金事業基金 ■9条交付金事業基金



【市民一人当たりの納税額及び歳出額(普通会計)】



【西多摩保健所からのお知らせ「賢い患者になれる講座」】【日時】11月20日(金)午後2時～4時30分【場所】公立福生病院1階多目的ホール【対象】テーマに関心のある方【定員】先着50人【申込み】受付中。11月13日(金)までに電話またはファックスで西多摩保健所企画調整課保健医療係 ☎ 0428・22・6141、FAX 0428・23・3987へ。

【子育て世帯臨時特例給付金の振り込みのお知らせ】 子育て世帯臨時特例給付金は、11月10日ごろに振り込みます。【問合せ】 子ども育成課子育て支援係 ☎ 551・1737